

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年			
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~2日	1月 ~9日	1月 ~16日	1月 ~23日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	9	33	14 (15)	8
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	8	3	2	6
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	2	1	1	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	5	15	8 (9)	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	7	2	5	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	0	2	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第3週(1月17日~1月23日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3			1		1		1
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	1	日本紅斑熱	1						1	
五類	10	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1							1
		侵袭性肺炎球菌感染症	1							1
		梅毒	8					6	1	1
新型インフルエンザ 等感染症	9,043	新型コロナウイルス感染症	9,043	1,061	494	372	254	5,258	749	855

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第3週に5,258件の報告があり、多い状況が続いています。新規感染者数を年齢階層別に見ると、第1週は20代が中心でしたが、第3週では全年代に広がっており、中でも10歳未満が776人(第1週の8倍)と急増しています。また、高齢者施設や保育施設等でのクラスターが多発しています。

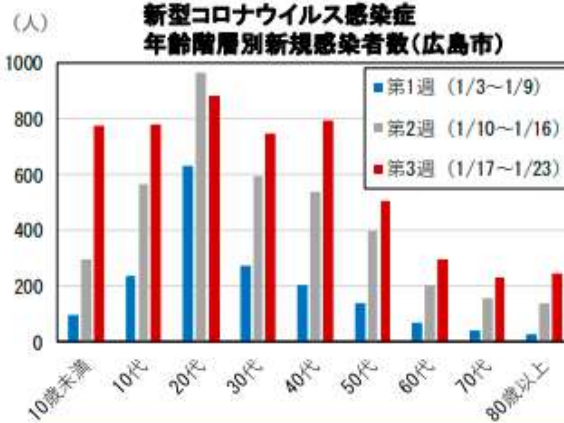
基本的な感染防止対策に加え、外出の半減、出勤者の削減、体調不良時の早期受診、検査の積極的受検などの対策を徹底しましょう。

2 感染性胃腸炎

定点当たり6.32人の報告がありました。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理、次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒など感染予防対策を徹底しましょう。

3 梅毒

6件の報告があり、昨年に引き続き多い状況が続いています。



**広島県実施のPCR等検査**  
 ※広島県庁にPCRセンターが開設されました  
 詳しくは、下記ホームページをご覧ください。  
 PCR検査の実施について(広島県)  
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/269/hiroshimapcrcenter.html>

■定点把握感染症報告状況(通報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減	
														急増	急減		
フィレン	インフルエンザ	1	0.03	25.65			小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.09			急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	
小児科	咽頭結膜熱	3	0.14	0.17			眼科	RSウイルス感染症	2	0.09	0.38			急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.18	1.63				急性出血性結膜炎	-	-	0.03			急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	感染性胃腸炎	139	6.32	5.64			基幹	流行性角結膜炎	3	0.38	0.48			急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	水痘	2	0.09	0.24				細菌性髄膜炎	-	-	-			急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	手足口病	16	0.73	0.20				無菌性髄膜炎	-	-	-			急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	伝染性紅斑	-	-	0.21				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06			急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	突発性発しん	9	0.41	0.28				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	ヘルパンギーナ	4	0.18	0.05				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-			急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
															急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
															急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
													急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減		
													急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減		

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇐ ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	2	80歳代
5	梅毒	6	11	20歳代・2人、30歳代・1人、40歳代・1人、50歳代・1人、70歳代・1人